

宍粟の
古代氏族

『播磨国風土記』（以下、風土記と略す）には、前回紹介した天日槍命などの神々に加えて、さまざまな氏族や人物の名前が記されている。また、奈良県の都城遺跡から出土した木簡によって、古代の宍粟郡に居住していた人物の名前を具体的に知ることが出来る。今回は、とくに古代の宍粟郡を特徴づける山部氏について触れることにする。

風土記宍粟郡比治里の条では、孝徳天皇（在位645～654）の時代に揖保郡を分けて宍粟郡を作った時に山部比治が里長に任じられ、この人の名によって里の名を比治里というところ。同じく安師里の条では、元の名は酒加里であったが、山部三馬が里長に任じられたので山守（里）と名づけたが、さらに里の名を安師里に改めたのは安師川の名によるものという。

里長は、郡司（郡の役人）のもとで里内の戸口の把握、税の

取り立てや管理、農作の督励などを職務としたとされている。風土記に記された二人の人物が実在したかどうかは明らかでないが、山部氏が複数の里で里長を務めるような有力氏族であったことは間違いないであろう。

一方、藤原宮（694～710）跡からは、「宍粟評（郡の古い表記）山守里・山部赤皮」と記された木簡が出土しており、風土記の成立以前から宍粟の地に山部氏が居住していたことが明らかである。また、平城宮（710～784）跡から出土した木簡では、山守里で山部加之支、柏野郷で山部子人・山部人足といった奈良時代の宍粟郡に居住した人物の名前が確かめられる。

山部氏は、その名が示すところでもともと地方の山林の管理やその地域の山林資源、特産物を朝廷に貢納する役割を担っていた古代氏族とされている。風土記宍粟郡の条には、各里に産する草木類や動物などの品目が書き上げられている。杉・樅・檜・樟・葛などは建築物や木製品の用材として利用され、栗・山藪は食材として、黄蓮は薬草として珍重されたことであろう。狼や熊は、毛皮、肉、牙などその利用価値はきわめて高い。山部

氏は、このような郡内の山の産物の採取や貢納にも携わったものであろうか。さらに宍粟郡の産物で特筆されるのは、柏野里敷草村と御方里金内川の条に見られる「鉄を生ず」の記事である。山林資源にはこうした鉱物も含まれていたものと思われ、宍粟郡の古代の鉄生産に山部氏が関わっていた可能性も考えられる。

現在のところ、史料のうえで宍粟郡における山部氏の存在が確かめられるのは、比治里、柏野里、山守里（のち安師里）の南西部に限られているが、山林資源のより豊富な北部一帯においても山部氏の勢力が及んでいたであろうことが推察される。山部氏は、豊かな山の幸に恵まれた「森林王国」宍粟の礎を築いた古代氏族といっても過言ではないであろう。

一宮生涯学習事務所 田路 正幸



▲比治里比定地（山崎南部地域）

おいでよ 図書館へ



宍粟市立図書館 ☎62-4620
山崎町鹿沢 81

蔵書検索について

市HP内の宍粟市立図書館のページから、宍粟市内の図書館の蔵書検索ができます。検索した本を予約される場合は、図書館へ申し込みください。



今月の
オススメ

好感を持たれる
手紙の書き方とマナー

著者 / 日本芸社

お礼状は3日以内に、相手によっては筆記員や用紙を使い分けること、便箋の正しい折り方など、細かいマナーもしっかりと教えてくれる冊です。



巨大戦艦大和

著者 / NHK取材班

当時乗組員だった人々の貴重な証言を基に、戦艦大和での日常の様子、激しいレイテ沖海戦、そして大和の壮絶な最期の時までが刻々と綴られています。

図書館カレンダー

□ 休館日
【開館時間】午前10時～午後5時30分

日	月	火	水	木	金	土
						13 14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

編集
後記

暑いぞ宍粟!この夏宍粟市で最も暑かった公式記録(観測値)は8月11日にアメダス一宮観測所で観測された38.2度でした。この値は県内26か所のアメダス地点の中で最高、つまり兵庫県内で最も暑かったと言えます。暑さの記録は年々に塗り替えられる傾向にあります。一宮観測所では昨年の7月20日に1時間86.5ミリというこの観測所での最大記録を観測しました。“観測史上最高”の項目を2年連続で更新したことになります。最高気温と最大雨量…地球温暖化の影響でしょうか。折しも8月30日からは気象庁が「特別警報」を開設、季節は9月の台風シーズン!大きな被害が出ないことを祈ります。

安